



「いぼ」はどうしてできるの

ウイルス性の「いぼ」と、老人性の「いぼ」がある

「いぼ」というのは、皮膚の表面の表皮が、高くもり上がった、小さな良性腫瘍のことをいいます。腫瘍とは、体の細胞の一部が、まわりの組織とは関係なく、異常なふえ方をして、大きくなるもののことをいいます。

「いぼ」には、ウイルス性の「いぼ」と、老人性の「いぼ」があります。

ウイルス性の「いぼ」というのは、ヒト乳頭腫ウイルスが、皮膚やねん膜に感染することによりできます。

ウイルスが皮膚やねん膜の傷から体に入ると、3～6か月後に「いぼ」が発生します。ささくれや、しっしんのある人、汗かきの人に多くできます。

「いぼ」をなおすには

いろいろな治りょう法（なおし方）がありますが、凍結りょう法という、こおらせて細胞をこわしてしまう方法が、最も多く行われている治りょう法です。

「いぼ」をとる薬もいろいろ売られていますが、へたにつけると、かえって「いぼ」をふやしたりすることがあるため、専門のお医者さんに、治りょうしてもらったほうがいいですよ。（監修・保志 宏）

